

(様式2)

1 アフリカ豚熱の発生を想定した初動対応

2 : 伊那家畜保健衛生所 中山 恵

3

4 令和2年7月、豚飼養農場より豚の死亡及び神経症
5 状の通報。農場立ち入り、臨床検査、血液検査から豚
6 熱及びアフリカ豚熱を否定。農場の状況、血液生化学
7 検査、病性鑑定により給水失宜による食塩中毒と診断。
8 これら一連の農場対応を、アフリカ豚熱が発生したと
9 想定し、県が策定した「長野県アフリカ豚熱防疫タイ
10 ムライン（以下、タイムライン）」を参照し検証。休日
11 対応では、異常家畜の通報から立入検査、血液検査、
12 死亡豚の解剖まで11時間30分要したことから、開庁
13 時では、アフリカ豚熱を疑い、確定検査のための検体
14 送付決定までに7時間要すると試算。また、「アフリカ
15 豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、発
16 生時の農場対応について検討し、初動防疫対応フロー
17 チャートを作成。作業内容や手順について確認。タイ
18 ムラインについては、休日対応も含めたスケジュール
19 の見直し、発生時の農場対応に関しては、採材方法や
20 写真撮影、報告について更なる検討が必要。